

カナダ派遣に参加して

遠軽高校 3年 北村 美樹

私は今回のカナダ派遣に、今よりも英語を話せるようになりたい、日本とは違う文化を体験したい、という理由で参加しました。しかし、私はあまり英語が得意でないので、ホストファミリーとしっかりコミュニケーションを取ることができるかなどの不安がありました。ですが、それ以上に、カナダで日本とは違う文化を体験したり、今まで知らなかつたことを学べることが、とても楽しみでした。なので、カナダに向けて出発したときは、緊張しながらもワクワクしていました。

カナダに着いて私たちは、はじめに、バンフ国立公園、ジャスパー国立公園の見学に行きました。北海道にも美しい景色はたくさんありますが、それとはまた違った壮大で美しい景色の数々に、とても感動しました。また、国立公園を見学しながらガイドをしてくれた川野さんに、カナダについて色々なことを教えていただきました。その中で私が一番印象に残っているのは、「ワイルドライフ」というカナダの人の考え方です。「ワイルドライフ」とは、英語で野生動物のことをいうのですが、ここに最初に居るものを尊重するという意味が込められています。つまり、この土地にもともと住んでいた動物たちや自然を尊重するというもので、カナダで見た道路には、動物専用の橋が架けられていました。北海道では車が動物とぶつかり、動物が死んでしまうことが少なくないので、「ワイルドライフ」と言うのは、本当にすばらしい考え方だなと感じました。他にもたくさんのこと学ぶことができ、国立公園の見学をすることでよかったです。

ホームステイでは、色々な体験をし、日本とカナダの違いをたくさん知ることができました。例えば学校です。カナダの学校は授業中にお菓子を食べたり、飲み物を飲んだり、スマートフォンを使っていいなど、日本の学校に比べて自由度がとても高いです。なので、初めて授業に参加したときは、とても驚きました。他にも、赤信号でも曲がっていいことや、16歳から運転免許証を取得できること、ハロウインの日は仮装をして家を周りお菓子を貰うこと、ノックをする習慣がないため部屋に入ってきてほしくないときは扉を閉め、それ以外は扉を開けておくなど、他にもたくさん違うことを学ぶことができ、カナダの文化をしっかり体験することができたと思います。

また、ホストファミリーとも、上手に英語を話すことはできませんでしたが、それでも単語だけでも口に出してみたり、辞書やジェスチャーを使ったりしながら、色々な話をすることができ、家のことや友だちのこと、カナダのことなどを教えてもらうことができました。そして、日本についても伝えることができました。初めは英語に耳が慣れていないくて、なんと言っているのかわかりませんでしたが、何日かたつと少しではありますが、英語を聞き取ることができるようになりました。

今回の派遣で私は、この原稿用紙に書ききれないほど多くのことを学び、体験し、そしてたくさんの思い出を作ることができました。なので、このことを友だちや家族に伝えたいと思います。そして、少しでもこの派遣事業に興味を持ち、参加したいと思う人が増えてくれればいいなと思います。最後になりますが、今回の派遣で貴重な体験をすることができたのは、受入れをしてくれたホストファミリーや、事前研修からずっと支えてくれた佐藤さん、内野さん、阿部教育長さん、ザン先生、そしてなにより、カナダ派遣への参加を承諾してくれたお母さん、お父さんのおかげです。心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。